



2025年1月14日

各位

会社名 株式会社VRAIN Solution
代表者名 代表取締役社長 南場 勇佑
(コード番号：135A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 コーポレート部部长 菊地 佳宏
(TEL 03-6280-4915)

2025年2月期 第3四半期決算内容に関する質疑応答

本資料は、当社が本日発表いたしました2025年2月期第3四半期（以下「3Q」と言います）決算内容に関し理解を深めて頂くことを目的として、当社が質問内容を想定して作成したものととなります。

記

質問1. 2024年4月15日公表の業績予想（売上高：2,115百万円、当期純利益：534百万円）は達成可能か？

回答1. 2025年2月期第3四半期決算説明資料P.6にご記載している通り、売上につきましては、現時点で稟議の最終段階にある案件の納品で、計画の達成もしくは上振れが可能であると判断しております。当期純利益の達成につきましては、コスト構造として、費用のうち7割強が固定費のため、一定の売上確保後は大幅な利益増加が見込めるモデルとなっております。売上を達成した際の第4四半期の営業利益率は40%強～50%強を見込んでおります。

工場への納品が3月以降にずれ込み、売上計上が来期にずれ込んだ際は、判明次第、速やかに業績予想を修正いたします。

質問2. 大型案件を含む未受注の案件は、取引先との調整は現在どの段階にあるのか？

回答2. 取引先側の最終決裁待ちの段階です。

質問3. 大型案件を含め、第4四半期に工場への納品が集中するが、リソース不足により納品遅延が発生しないか？

回答3. 大型案件については、すでに導入済みの装置仕様と同じ構成を一括導入するため、リソースを必要とする装置仕様の設計が発生いたしません。その他の案件につきましても、現時点の人員体制に不足はなく、導入可能と判断しております。

質問4. 売上高が4Qに集中した要因は？季節変動はあるのか？

回答4. 季節変動の要因として、以下の理由から、2Qと4Qに売上が集中する傾向があります。

- ・取引先の決算期（半期・期末）に向けて、予算消化の動きが活発化するため。
- ・お盆や年末年始の休暇期間に生産ラインが停止することから、その期間に導入依頼が集中しやすいため。

しかしながら、リピート顧客を中心に、1件の取引額が1億を超える複数ラインの一括導入案件が増加しており、現段階の売上水準においては、大型案件の導入時期によって、特定の四半期に売上高が集中することがあります。

売上高が4Qに集中した要因は、複数の大型案件の納品が4Qに予定しているためです。

質問5. 採用計画(30名の増員)を上回るペースで採用を進めているが、来期以降の採用計画は?

回答5. 来期も当期と同様に、営業所の拡大を予定しているため、当期とほぼ同規模の採用を予定しております。

質問6. 新規採用者が売上に貢献するのはいつか?

回答6. AIシステムの販売に関しては、生産ラインへの導入に向けて、画像処理技術や自動化制御に関する知識等、幅広い専門知識が必要となるため、売上に貢献するまでは半年から1年程度の期間を要します。

質問7. 展示会の出展にかかる費用は?

回答7. 1開催につき700万円程度のため、AIシステム1件(平均単価1,900万円)の受注で回収可能です。

質問8. 展示会で何件のリードを獲得している?

回答8. 展示会の規模によって変動しますが、リード獲得数は約2,000件を目標としております。

質問9. 名古屋営業所の開設について。営業所の開設ペースが早まっているがその理由は?

拠点開設にかかる費用、今後の開設予定は?

回答9. 2024年8月に開設した大阪営業所において、現場把握から提案までが迅速化されるとともに、潜在課題の把握により新たな案件の獲得に繋がる等、営業所開設による効果が出ていることから、IPO時の予定を前倒しして開設を行っております。

拠点開設にかかる費用については、初期投資約8百万円、月額賃料は50~60万円程度と、AIシステム1件の受注で回収が可能のため、収益機会の増加を見込むと費用は軽微であると考えております。

来期以降も主要都市への営業所開設によってエリアの拡大を検討してまいります。

質問10. 2024年8月に開設した大阪営業所の進捗について、業績への貢献状況は?

回答10. 当期中の営業活動においては、取引先の来期予算の獲得を中心に進めているため、当期への貢献は限定的であり、来期に向けて案件の獲得を着実に進めております。業績への貢献は来期以降を予定しております。

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の有価証券の買付け又は売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれます。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてこれを保証するものではありません。

以上